



縄文・弥生

土器や住まいから、古代の暮らしをのぞこう



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

縄文時代	3～7
弥生時代	8～13
縄文・弥生をたどる	14～15
たしかめよう	16～22
まとめと発信	23～28
ふり返り	29～30

縄文時代とは

日本列島に、長く続いた狩りと採集の時代がありました。

縄文時代は、今からおよそ1万年以上前から始まり、2千年以上続いたといわれる、とても長い時代です。**狩りや漁、木の実の採集**で食べ物を得ながら暮らしていました。

「縄文」という名前は、この時代の土器の表面によく見られる、縄を転がしてつけたような文様に由来するといわれています。



ポイント

- 縄文時代は、日本列島の歴史の中でもとくに長く続いた時代です。
- 農業が始まる前、自然の恵みを取り入れながら暮らしていました。
- 気候や地形にあわせて、地域ごとにちがう暮らし方がありました。

やってみよう

1. 縄文時代は、今から何年くらい前に始まったといわれていますか。
2. 「縄文」という名前の由来を、自分の言葉で説明してみよう。

ワンポイント 縄文時代は数千年も続いたので、同じ「縄文時代」でも、時期によって暮らしの様子は少しずつ変化しています。

書いて覚えよう

縄文土器と土偶

土からつくられた道具や像に、当時の技とねがいが表れています。

縄文土器

じょうもんとき / Jomon pottery

縄目の文様がついた、縄文時代の土器

土偶

どぐう / dogu

土で作られた人の形をした像

Emma

縄文土器って、どうして表面に模様がついているの？



Ken

縄をおしつけたり転がしたりして、文様をつけたといわれているよ。

ポイント

- 縄文土器は、食べ物を煮たりたくわえたりするために使われました。
- 土偶の多くは女性をかたどっており、安産や豊かな実りをいのって作られたと考えられています。
- 土偶の多くは、こわれた状態で見つかっています。

やってみよう

1. 縄文土器の文様には、どんな意味があったと考えられていますか。

2. 身近な材料で、簡単な文様を紙にうつしてみよう。

書いて覚えよう

狩りと採集、たて穴住居

自然と共に生きる、縄文の人々の暮らしをのぞいてみよう。

狩り

弓矢を使って、シカやイノシシなどをとらえました

漁

釣り針やもりを使って、魚や貝をとりました

採集

どんぐりやクリなどの木の実を集めました

たて穴住居

地面を掘り下げ、柱を立てて屋根をかけた住まい

炉（ろ）

住居の中央にあり、暖をとる調理にも使われました

道具づくり

石を打ち欠いた石器や、骨や角の道具も使いました

ポイント

- 食べ物は、季節ごとにとれるものを組み合わせて確保していました。
- たて穴住居は、いくつかの家族が集まって、むらをつくって暮らしていたと考えられています。

やってみよう

1. 縄文時代の人々が食べていたものを、3つ書いてみよう。

2. たて穴住居のよいところは何だと思いますか。

ワンポイント たて穴住居のあとは、日本各地の遺跡で見つかっています。地域の資料館で復元されたものを見られることもあります。

書いて覚えよう

貝塚と三内丸山遺跡

遺跡は、縄文の暮らしを知る大切な手がかりです。

貝塚

かいづか / shell mound

食べたあとの貝がらなどを捨てた場所が積み重なったあと

三内丸山遺跡

さんないまるやまいせき

青森県にある、縄文時代を代表する大きな集落のあと

三内丸山遺跡でわかったこと

青森県にあるこの遺跡では、長期間にわたって定住していた大きなむらのあとが見つかりました。クリの木を育てていたと考えられる跡や、遠くの地域との交流を示す品も見つかっています。貝塚からは、当時の食生活や環境を知る手がかりが得られます。

ポイント

- 貝塚を調べると、当時どんな貝や魚を食べていたかがわかります。
- 三内丸山遺跡は、縄文時代のイメージを大きく広げた発見のひとつといわれています。

やってみよう

1. 貝塚から何がわかるか、自分の言葉で説明してみよう。

書いて覚えよう

縄文の暮らしと自然

自然の変化に合わせて、暮らしを工夫していました。

季節	とれるもの	くらしの様子
春	山菜、若い芽	新しい季節の始まり
夏	魚、貝	漁がさかんな季節
秋	どんぐり、クリ	木の実を集めて保存
冬	保存した食料	狩りと蓄えでしのぐ

ポイント

- 自然の変化を読み取り、季節ごとの恵みを生かして暮らしていました。
- とった食べ物の一部は、土器を使って保存していたと考えられています。

やってみよう

1. 今の季節に、縄文時代の人々はどんな物を食べていたと思いますか。

ワンポイント 縄文時代の人々は、自然を大きく作り変えるのではなく、自然のリズムに合わせて暮らしていたと考えられています。

書いて覚えよう

米づくりが伝わり、暮らしが大きく変わっていきました。



稲作の始まり

米づくりは、人々の暮らしを大きく変えました。

稲作

いなさく／rice farming

水田で米を育てること

水田

すいでん／paddy field

稲を育てるために水をはった田



Ken

稲作が始まって、暮らしはどう変わったのかな？

Emma

食べ物をたくわえられるようになって、むらが大きくなっていったみたいだよ。



ポイント

- 稲作によって、決まった場所に長く住み続けやすくなりました。
- 米は保存がきくため、たくわえておくことができました。
- 農作業には、多くの人の協力が必要でした。

やってみよう

1. 稲作が始まったことで良かったと思うことを書いてみよう。

書いて覚えよう

弥生土器と高床倉庫

新しい土器と建物が、暮らしを支えました。

弥生土器

やよいどき / Yayoi pottery

縄文土器より薄手で、文様の少ない土器

高床倉庫

たかゆかそうこ／raised storehouse

湿気や動物から米を守るため、床を高くした倉庫

弥生土器

うすくてしょうぶ。にたきや貯蔵に使
われた

高床倉庫

床下に風を通し、ねずみの侵入も防い
だ

石包丁

いねの穂をつみとるための道具

ポイント

- 弥生土器は、縄文土器に比べてシンプルな形が多いのが特徴です。
- 高床倉庫は、収穫した米をたくわえるための工夫でした。

やってみよう

1. 高床倉庫が高い床になっている理由を書いてみよう。

書いて覚えよう

金属器の伝来とむらからくにへ

金属の道具が伝わり、むらは次第にまとまっていきました。

青銅器

せいどうき／bronze ware

銅とすずを混ぜた金属でつくられた道具。銅鐸などがある

鉄器

てつき／iron ware

鉄でつくられた、切れ味のよい道具や武器

ポイント

- 青銅器はおもに祭りの道具として、鉄器は農具や武器として使われました。
- 米づくりが広がるにつれ、水や土地をめぐる争いも起こるようになりました。
- 力の強いむらが周りのむらをまとめ、次第に「くに」と呼ばれるまとまりが生まれていきました。

やってみよう

- むらが「くに」にまとまっていった理由を、自分の言葉で書いてみよう。

ワンポイント 銅鐸は、祭りのときに音を鳴らすための道具だったと考えられていますが、くわしい使い方には諸説あります。

書いて覚えよう

出土した建物のあとをもとに、当時のようすが復元・公開されています。

- 集落の周りを堀で囲むことを、環濠（かんごう）といいます。
- 物見やぐらは、周囲を見張るための建物だったと考えられています。

1. 吉野ヶ里遺跡がある都道府県を調べてみよう。
2. 堀や物見やぐらが作られた理由を考えて書いてみよう。

縄文と弥生のちがい、遺跡を見に行こう

2つの時代をくらべると、変化がよくわかります。

縄文時代

狩りと採集の暮らし

厚手で文様の多い土器

食料の煮たきや保存に使用

決まった耕作はしない

自然の恵みにたよる暮らし

弥生時代

稲作が広まった暮らし

薄手でシンプルな土器

米づくりが中心の暮らしへ

高床倉庫やむらの発展

くにへとまとまっていく

ポイント

- どちらの時代も、遺跡や出土品から当時の暮らしを知ることができます。
- 近くの資料館や遺跡を調べて、実際に訪れてみるのもおすすめです。

やってみよう

1. 縄文時代と弥生時代の大きなちがいを1つ書いてみよう。

2. 近くにある遺跡や資料館を調べてみよう。

書いて覚えよう

発掘の仕事

遺跡を調べる発掘調査は、根気のいる仕事です。

発掘調査では、地面を少しずついねいに掘り、土器や住居のあとなどを記録しながら調べていきます。

見つかったものは、年代や種類ごとに整理され、当時の暮らしを知る手がかりになります。



ポイント

- 発掘調査には、考古学の専門家だけでなく、多くの人が関わっています。
- 一つの遺跡を調べるのに、何年もかかることがあります。

やってみよう

1. 発掘調査をする人には、どんな力が必要だと思いますか。

ワンポイント 遺跡の発掘現場が一般に公開されることもあります。近くで行われていないか調べてみましょう。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

本物や写真から、教科書だけでは分からないことも見えてきます。

見てみよう

縄文土器

土偶

たて穴住居の復元

高床倉庫の復元

銅鐸

出土品の写真集

資料館や博物館では、実物やくわしい写真を見ることができます。

ポイント

- 実物を見ると、大きさや質感など、写真だけでは分からないことが分かります。
- 博物館の展示には、説明パネルもいっしょに読むと理解が深まります。

やってみよう

1. 近くの博物館や資料館で、縄文・弥生時代の展示があるか調べてみよう。

書いて覚えよう

体験してみよう

自分の手を動かして、当時の工夫を感じてみよう。

やってみよう

1. 紙ねんどや粘土で、縄文土器のような文様をつけてみよう。ひもをおしつけると、文様がつけやすくなります。
2. 新聞紙や紙を使って、高床倉庫のミニチュアを作ってみよう。

ポイント

- 身近な材料でも、当時の工夫を体験することができます。
- 力を入れすぎると形がくずれるので、少しずつ試してみましょう。

ワンポイント はさみやカッターを使うときは、大人といっしょに、指を切らないように気をつけましょう。

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい

言葉の意味を、もう一度たしかめよう。

縄文

縄目の文様がついた土器の時代

弥生

土器が発見された地名に由来

貝塚

貝がらなどが積み重なった遺跡

高床倉庫

湿気や動物を防ぐ高い床の倉庫

環濠

むらを囲む堀

土偶

いのりのために作られた人の形の像

ポイント

- 名前の由来を知ると、それぞれの時代の特徴が覚えやすくなります。

やってみよう

1. この中で一番おもしろいと思った言葉と、その理由を書こう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

遺跡の様子は、地域によってちがいがあります。

地域	代表的な遺跡	特徴
東北地方	三内丸山遺跡	大規模で長期間続いた縄文の集落
関東地方	大森貝塚	日本で初めて調査された貝塚のひとつ
九州地方	吉野ヶ里遺跡	環濠をもつ弥生時代の大きな集落

ポイント

- 気候や地形のちがいから、地域ごとにとれる食べ物や暮らし方にちがいがありました。
- 同じ時代でも、地域によって遺跡の規模や特徴はさまざまです。

やってみよう

1. 自分の住んでいる地域に、古い時代の遺跡がないか調べてみよう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

時代がちがっても、共通することも見えてきます。

縄文・弥生時代

大昔の暮らし

狩り・採集・稲作で食料を得る

自然と深く関わる暮らし

土器や石器を手づくり

時間と手間をかけた道具づくり

今

わたしたちの暮らし

お店で食べ物を買う

便利になった一方で自然との距離も

工場で道具を大量生産

手づくりの良さが見直されることも

ポイント

- 道具や暮らし方は変わっても、食べ物を大切にする気持ちは今にも通じます。

やってみよう

1. 昔と今で、変わらないと思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

よくある疑問

みんなが気になることを、いっしょに確かめよう。

Emma

縄文時代の人たちは、文字を書いていたの？



Ken

縄文・弥生時代には、日本にはまだ文字を使った記録がなかったといわれているよ。

Emma

じゃあ、どうやって暮らしが分かるの？



Ken

遺跡や出土品から、研究者が少しずつ明らかにしてきたんだ。

ポイント

- 当時のことは、遺跡や出土品の調査から分かってきたことがほとんどです。
- 新しい発見によって、これまでの説が見直されることもあります。

やってみよう

1. あなたが縄文・弥生時代について疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

- 展示されている出土品には、むやみにさわらないようにしましょう。
- 遺跡は貴重な文化財です。指定された場所以外を掘ったり、持ち帰ったりしてはいけません。
- 博物館では、まわりの人の迷惑にならないよう、静かに見学しましょう。

1. 遺跡や博物館を訪れるときに、気をつけたいことを1つ書こう。

22

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

縄文時代の言葉

☐ 縄文土器

縄目の文様がついた土器

☐ 土偶

いのりのための人の形の像

☐ たて穴住居

地面を掘り下げた住まい

弥生時代の言葉

☐ 弥生土器

うすくてシンプルな土器

☐ 高床倉庫

米をたくわえる高い倉庫

☐ 稲作

米づくり

遺跡の言葉

☐ 貝塚

貝がらが積み重なった遺跡

☐ 環濠

むらを囲む堀

☐ 発掘調査

遺跡を調べる作業

時代の言葉

☐ 青銅器

祭りに使われた金属の道具

☐ 鉄器

農具や武器に使われた金属の道具

☐ むら・くに

集落が大きくまとまった集団

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。用語を知ると、資料館の説明もぐっと分かりやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|-----------------------|
| 縄文土器 | ● | ● ア. いのりのために作られた人の形の像 |
| 土偶 | ● | ● イ. 縄目の文様がついた土器 |
| 高床倉庫 | ● | ● ウ. むらを囲む堀 |
| 貝塚 | ● | ● エ. 湿気や動物から米を守る倉庫 |
| 環濠 | ● | ● オ. 貝がらが積み重なった遺跡 |

2. 正しいほうに○をつけよう

- 米づくりが広まったのは（縄文時代／弥生時代）
- 縄をおしつけた文様がある土器は（縄文土器／弥生土器）

3. 空らんにはまる言葉を書こう

- 佐賀県にある弥生時代の大きな遺跡は _____

書いて覚えよう

家族や友だちに話してみよう

学んだことを、身近な人に伝えてみよう。

3文で伝えよう

① 縄文・弥生時代は、～な時代でした。② とくに、～が印象に残りました。③ 今度、～してみたいです。

ポイント

- 伝えるときは、覚えた用語を1つ使うと、より詳しく伝わります。
- 家族に「知ってた？」と聞きながら話すと、会話が広がります。

やってみよう

1. 家族や友だちに、どんなことを伝えたいか書き出してみよう。

書いて覚えよう

英語で紹介してみよう

日本文化を、英語でも紹介できるようになろう。

縄文時代

the Jomon period

狩りと採集で暮らした、日本のとても古い時代

弥生時代

the Yayoi period

稲作が広まった時代

土器

earthenware / pottery

土を焼いてつくった器

遺跡

a historic site / ruins

昔の人が暮らしたあと

伝えたい時代

英語でひとこと

This is from the _____ period.

特徴をひとこと

People made _____ .

Kenの例

伝えたい時代 縄文時代／英語でひとこと This is from the Jomon period.／特徴 People made pottery with rope patterns.

ポイント

- 長い文でなくても大丈夫。知っている単語を組み合わせで伝えてみましょう。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ

縄文・弥生の世界は、まだまだ広がっています。

もっと知りたい人へ

資料館で

出土した本物の土器や土偶を見る

遺跡へ

復元されたたて穴住居を訪ねる

図書館で

考古学の本を借りて調べる

次のステップ

古墳時代

大きな墓がつくられた時代へ

豪族

むらをまとめた力のある一族

大和政権

くにがまとまっていく流れ

ポイント

- この教材の次は「古墳・飛鳥・奈良」。日本の歴史は、ここからさらにつながっていきます。

書いて覚えよう

縄文・弥生チャレンジ

教室の外でも、古代の暮らしにふれてみよう。

調べよう

近くにある遺跡や貝塚を1つ調べる

見に行こう

博物館で本物の土器や土偶を見る

作ってみよう

粘土で縄文土器の文様を再現する

こたえ

L1 1万年以上前

L9 縄文時代

L15 佐賀県

L28 縄文土器→イ 土偶→ア 高床倉庫→エ 貝塚→オ 環濠→ウ 2. 弥生時代 / 縄文土器 3. 吉野ヶ里遺跡

L33 (例) 縄文・弥生時代は、狩りや採集から稲作へと暮らしが変わっていった時代。

書いて覚えよう

縄文・弥生 (Season 8 | No.71)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。